



☆草の根人間の安全保障無償資金協力プロジェクト完成式

6月11日、東ジャワ州バンカラン県（マドゥラ島）コナン郡パケス村において、日本政府が草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みで支援した診療所及び母子保健向上計画の供与式典が開催されました。本件は同村の住民約4300名に対する医療保健サービスの向上のため、診療所（待合室、分娩室、出産後のリハビリ室、看護師・助産婦の宿直室）の建設、医療機材の整備、同診療所や村で使用するための水供給施設の建設、保健ボランティア能力向上のためのトレーニング及び母子に対する啓蒙活動に対して、112,324米ドルを限度額として資金供与し、実施されたものです。

式典では、モハマッド・ラスリ・コナン郡長やヌル・アイーダ・ラフマワティ・コナン郡保健局長が「診療所や医療機材だけでなく、住民へのトレーニングも実施してくださった日本政府に感謝申し上げます。町へのアクセスが悪く、これまで郡所有の保健所で治療を受けることができなかった村民も、これからは同診療所で適切な治療を受けることができるようになった。村の住民同士で責任をもって管理を行っていきたい。」と述べ、加藤総領事は「今回の支援は、日本国民からのものである。皆さんが日本国民の善意を受け止め、今回建設された施設の管理をきちんと行っていただき、村の役に立つことを望んでいる。」と述べ、式典に出席した村民からは拍手が湧き起こりました。



プロジェクト実施前の診療所



プロジェクトで建設された診療所



完成式典の様子



視察の様子（供与された母子手帳）

左：ヌル・アイーダ・ラフマワティ・コナン郡保健局長

右：加藤総領事